

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第9週（令和8年2月23日～令和8年3月1日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・インフルエンザの定点当たり報告数が25.27となり、前週より減少したものの15週連続で警報が継続しています。感染拡大防止のため、引き続き、手洗い、咳エチケットを含む適切なマスクの着用、こまめな換気等の感染対策に努めましょう。また、本疾患を疑う症状がある場合は、早めにかかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話で相談のうえ受診してください。
- ・春休み等を利用して海外へ渡航される場合は、事前に、渡航先で発生している感染症を確認しましょう。現在、海外における麻しんの流行が報告されており、インドネシアをはじめとする諸外国を推定感染地域とする輸入事例の報告が増加しています。渡航後、帰国後2週間程度は、麻しん発症の可能性も考慮して健康状態に注意しましょう。また、発熱や咳、鼻水、目の充血、全身の発しん等の症状が見られる場合には、医療機関に事前に電話で相談し、海外渡航歴があることを伝えたくて、医療機関の指示に従って速やかに受診してください。なお、受診の際には、感染拡大を防止するため、必ずマスクを着用し、公共交通機関等の利用は控えてください。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	15	132	238	1,921
レジオネラ症	1	11	31	268
急性脳炎	1	5	5	71
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	18	19	247
侵襲性肺炎球菌感染症	2	27	44	490
梅毒	6	99	116	1,442
百日咳	3	70	138	1,580

■ 定点把握疾患報告数

 : 警報

 : 注意報

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	45	0.37	0.90	6,936	1.83
インフルエンザ	3,083	25.27	0.59	131,200	34.54
急性呼吸器感染症	8,214	67.33	0.76	327,429	86.46
RSウイルス感染症	66	0.94	1.29	1,276	0.56
咽頭結膜熱	34	0.49	0.83	635	0.28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	331	4.73	0.76	6,600	2.87
感染性胃腸炎	380	5.43	0.54	18,439	8.02
水痘	21	0.30	0.51	749	0.33
手足口病	9	0.13	0.82	110	0.05
伝染性紅斑	8	0.11	0.67	307	0.13
突発性発しん	18	0.26	1.13	458	0.20
ヘルパンギーナ	0	0.00	0.00	32	0.01
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.00	44	0.02
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	9	0.01
流行性角結膜炎	14	0.54	1.00	293	0.42
細菌性髄膜炎	1	0.07	-	13	0.03
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	13	0.03
マイコプラズマ肺炎	1	0.07	1.00	116	0.24
クラミジア肺炎	0	0.00	-	8	0.02
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.07	-	27	0.06